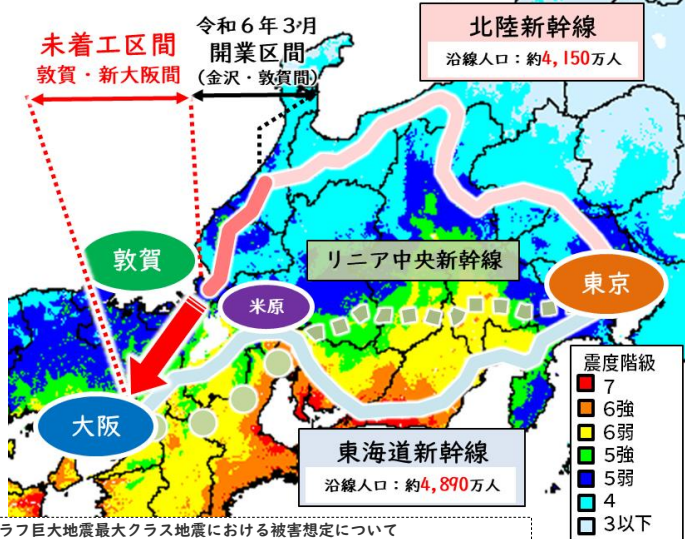


○ 北陸新幹線は、関西の将来に必要な不可欠な国家プロジェクト

《南海トラフ地震の震度分布と新幹線ルート》



南海トラフ巨大地震最大クラス地震における被害想定について
(令和7年3月 中央防災会議)
・東海道・山陽新幹線の震度6弱以上の区間(三島・徳山間)は、運転再開に1週間から1か月の期間が必要
(震度5強以下の区間は、当日のうちに運転再開)

図出典：南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会 地震モデル報告書[陸側ケース]
令和7年3月31日(南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ)

《政府・与党における議論等の状況》

令和7年12月12日 自民党、日本維新の会による与党プロジェクトチーム初会合

- ・与党整備新幹線建設推進PTの体制および運営方法、委員会の設置、整備新幹線の現状について議論

令和7年12月15日 自民党、日本維新の会による敦賀・新大阪間整備委員会初会合

- ・北陸新幹線(敦賀・新大阪間)の検討経緯について議論

令和8年 3月 6日 敦賀・新大阪間整備委員会第2回会合

- ・第221回国会会期中(～7月17日)のルート決定に合意
- ・JR西日本へのヒアリングを実施

現在、敦賀・新大阪間整備委員会において、関係自治体等からのヒアリングを実施中

- R8. 3. 17 国土交通省、鉄道・運輸機構から施工上の課題等に関する説明
- R8. 4. 8 滋賀県へのヒアリング
- R8. 4. 16 福井県へのヒアリング
- R8. 4. 27 JR東海へのヒアリング
- R8. 5. 15 北陸経済連合会へのヒアリング

提言要旨

あらゆる手段を尽くして敦賀・新大阪間を一気に整備し、**一日も早い全線開業を実現**

- 今国会中に**ルートを決定**
- 北陸新幹線の**必要性や意義**を沿線地域等に説明し、**早期全線整備に向けた理解を促進**
- 安定的な財源の確保、費用対効果**について検討を加速し、**着工5条件を早期に解決**
- 国家プロジェクトにふさわしい**負担軽減策**を講じ、**沿線自治体の負担を最小化**